

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年5月分)

2021年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[新型コロナウイルス感染状況\(1~31日\)](#)

●[EU主導メカニズムを通じた新型コロナウイルス・ワクチンのBH到着\(4、24、31日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[RS政府、インツコ上級代表による国連安保理報告に対するカウンター・レポートを発表\(4月29日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[インツコ上級代表、第59回国連安保理報告を実施\(4日\)](#)

●[PIC・SB、シュミット新上級代表を正式に任命\(27日\)](#)

(2) 二国間関係

●[BH・米合同軍事演習の開始\(17日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[茂木外務大臣のBH訪問\(1日\)](#)

●[伊藤大使の東サラエボ市訪問\(20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●[本年第1四半期のBHからの輸出額、昨年同期を25%上回る\(21日\)](#)

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(3) 民間セクター

●[ドイツ企業のGST、BH国内に新工場を開設の方針\(31日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新型コロナウイルス感染状況(1～31日)

国内の新型コロナウイルス感染状況は改善傾向が続き、5月の新規感染者総数は5,551人で、一日あたりの新規感染者数で過去最高を更新する日もあった4月の2万8,835人から大きく減少した。また、国内各自治体では引き続き、高齢者向けのワクチン接種が行われている。

●EU主導メカニズムを通じた新型コロナウイルス・ワクチンのBH到着(4、24、31日)

EU主導メカニズムに基づき調達された新型コロナウイルス・ワクチン計3万2,760回分が、31日までにBHに到着。EUは、西バルカン諸国向けのワクチン供給の安定化のために、米ファイザー社との間でワクチン約65万回分の供給契約を結んでおり、このうち今回到着分を含む21万4,000回分が、本年8月までに順次BHに到着する予定である。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●グルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相のBH訪問(22日)

グルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相がBH南部のストラツ市を訪問、チョービッチBH議会上院副議長(HDZ、クロアチア系与党党首)と会談を行い、両国関係および新型コロナウイルス問題への対応につき話し合った。また会談後には、同市で開催された「ブライブルクの虐殺」(注:第二次世界大戦末期に、パルチザンがオーストリアのブライブルクにて、敗走するクロアチアのウスタシャなど、対ナチス・ドイツ協力勢力を虐殺した事件)から76周年の

追悼祈念行事に参列した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS政府、インツコ上級代表による国連安保理報告に対するカウンター・レポートを公表(4月29日)

RS政府は、5月4日に実施されたインツコ上級代表の第59回国連安保理報告に先駆け、同政府独自の対抗報告書を公表した。この中でRS政府は、BHのEU加盟実現に向けたRSの積極的な取組を強調する一方で、OHRの早期閉鎖を求める従来の立場を重ねて示した。

●ヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼式典の開催(8日)

BH・クロアチア国境付近に位置するBH北部のドーニャ・グラディナにおいて、第二次世界大戦中に「旧クロアチア独立国(NDH、ナチス・ドイツの傀儡政権)」が主にセルビア人、ユダヤ人、ロマ人の収容を目的に設置したとされるヤセノバツ強制収容所の犠牲者追悼式典が開催され、ドディック大統領評議会議長(セルビア系)およびブチッチ・セルビア大統領等が出席した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●インツコ上級代表、第59回国連安保理報告を実施(4日)

インツコ上級代表は、第59回国連安保理定例報告を実施した。この中でインツコ上級代表は、RS政治家によるBHの平和的解体論の提唱など、国内の一部で強まる分離主義的発言に対する懸念を表明。また、OHR閉鎖

条件である「5+2」アジェンダについては、依然として進展がないとする評価を示した。

●大統領評議会3メンバー、ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合に出席(17日)

大統領評議会3メンバーは、スロベニアで開催された西バルカン諸国のブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合に出席。会合後、ジャフェロビッチ・ボシュニャク系メンバーが、BHとの間で未解決問題を抱えるセルビアおよびクロアチアの姿勢につき問題提起した旨述べたのに対して、ドディック議長は、同発言は大統領評議会としての見解ではないと述べるなど同メンバーを批判。当地各紙は、3メンバーの足並みの乱れが改めて浮き彫りになった旨報じている。

●PIC・SB、シュミット新上級代表を正式に任命(27日)

和平履行評議会(PIC・SB)は、先にドイツが擁立を表明していたシュミット独連邦議会議員を新(第8代)上級代表に正式に任命するとともに、本年8月1日に就任する旨を決定し、発表した。また、シュミット新上級代表の就任にあわせて、2009年に就任したインツコ現上級代表が退任することも併せて発表された。なお、PIC・SBメンバーのロシアは同決定に同意しておらず、PIC・SBの全会一致によらない一方的な決定であるとして批判を強めている。

●イゼトベゴビッチSDA党首、シュミット新上級代表の任命を歓迎(28日)

イゼトベゴビッチBH議会上院議長(SDA、ボシュニャク系与党第一党党首)は、PIC・SBによるシュミット新上級代表の正式任命を歓迎

するとともに、同人が国際社会の強力な後押しを受けて、インツコ現上級代表を上回る成果を上げることへの期待を述べた。

●RS与党、シュミット新上級代表の任命を強く批判(27、28日)

PIC・SBがシュミット新上級代表を正式に任命したことをめぐり、ドディック大統領評議長(セルビア系)は、27日、RSの要請に基づかない上級代表の任命は Dayton 和平合意違反であるとする従来の批判を重ねて示すとともに、PIC・SBの同決定は、国際法を無視する国際社会の姿勢を反映するものだと強く批判した。また、28日には、ツビヤノビッチRS大統領がRS与党各党首と会談し、シュミット新上級代表の任命を容認しない方針を確認した。

●IRMCT、カラジッチ元RS指導者を英国南部の刑務所に移送(27日)

旧ユーゴ国際刑事法廷(ICTY)の後継組織にあたる国際刑事法廷残余メカニズム(IRMCCT)は、1995年7月のスレブレニツァ虐殺を含む、先のBH紛争における戦争犯罪をめぐり2019年に終身刑判決を下されているカラジッチ元RS指導者を、IRMCTが受刑者の受け容れに関する取決めを結ぶ英国内の刑務所に移送した。

(2)二国間関係

●BH・オーストリア外相会談(4日)

シャレンベルク・オーストリア外相は、EU主導の枠組に基づき調達された新型コロナウイルス・ワクチンのBHへの引き渡しに合わせてサラエボを訪問し、トゥルコビッチBH副首相兼外相(SDA所属)と会談を行った。両外相は、

両国の新型コロナウイルス・ワクチンの調達問題、BHのEU加盟プロセス、およびBH国内の移民・難民問題などにつき話し合った。

●BH・トルコ外相会談(5日)

チャヴシュオール・トルコ外相がBHを訪問し、トゥルコビッチBH副首相兼外相および大統領評議会3メンバーとそれぞれ会談した。両外相は、サラエボ・ベオグラード間の高速道路建設を始めとするインフラ整備および経済関係などにおいて両国間の協力を促進していく方針を確認した。

●BH・米合同軍事演習の開始(17日)

BH・米合同軍事演習「Immediate Response 21」が、6月2日までを期間としてBH国内で開始された。本演習は、NATO加盟各国にBHおよびコソボを加えた計27か国が参加する多国間合同軍事演習「Defence Europe 21」の枠組で実現したものであり、期間中には、BH国軍から500人、米軍から700人が参加のもと、BH連邦およびRSの両地域の各演習場で演習が実施された。

●BH・モンテネグロ首脳会談(24、25日)

24日、クリボカピッチ・モンテネグロ首相がBHのサラエボを訪問、テゲルティヤBH閣僚評議会議長(中央政府の首相)および大統領評議会3メンバーとそれぞれ会談を行い、両国関係強化の方針につき話し合った。また25日には、RSのバニャ・ルカ市を訪れ、ツビヤノビッチRS大統領を始めとするRS首脳と会談を行った。

(3)日・BH関係

●茂木外務大臣のBH訪問(1日)

茂木敏充日本国外務大臣がBHを訪問し、トゥルコビッチ閣僚評議会副議長(副首相に相当)兼外務大臣との間で会談を行った。同会談終了後、両外相は国境管理・治安対策機材供与の無償資金協力を署名するとともに、スロベニアの国際NGOと連携してBHで実施する地雷除去支援に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名式に立ち会い、また、共同記者発表を行った。その後、茂木大臣はBHの共同国家元首である大統領評議会3メンバーへの表敬を行った。詳細は以下をご覧ください。

(https://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/c_see/ba/page6_000556.html)



(写真: 茂木外相とトゥルコビッチ外相)

●伊藤大使の東サラエボ市訪問(20日)

伊藤駐BH日本国大使は、東サラエボ市を訪問し、チョンッチ市長との間で日本と東サラエボ市の今後の協力関係につき意見交換を行うとともに、東サラエボ大学、「セルビア」病院、およびファモス柔道クラブを訪問した。



(写真:伊藤大使とチョシツチ市長)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●本年第1四半期のBHからの輸出額、昨年同期を25%上回る(21日)

BH統計庁の発表によれば、本年第1四半期のBHからの輸出総額は、新型コロナウイルス問題などの影響で大きく落ち込んだ昨年同期を25.7%上回る41億7,800万KM(約21億3,600万ユーロ)を記録。また、BHへの輸入額は61億KM(約31億2,000万ユーロ)で、昨年同期を12.5%上回った。

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●EU、RS公衆衛生局にPCRテスト4万5,000回分を供与(8日)

サツラー当地EU大使は、EUの対BH新型コロナウイルス対策支援の一環として、バニャ・ルカ市にあるRS公衆衛生局に対してPCRテスト4万5,000回分を供与した。

(3) 民間セクター

●トルコ企業の Wieberr、BH国内に新工場を開設の方針(19日)

自動車関連用品の生産を行うトルコのWieberrは、域内諸国向けに同社の約200種類の製品を生産する拠点として、BH北東部

のジビニツェ市(BH連邦)に新たに工場を開設する方針を発表した。

●ドイツ企業のGST、BH国内に新工場を開設の方針(31日)

自動車用センサーなどの生産を行うドイツのGST(German Sensor Technology)は、BH北部のマグライ市(BH連邦)に同社の新工場を開設する方針を発表。同社は、本年8月末を見込む同工場の操業開始にあわせた15~20人規模の雇用に加え、順次、従業員数を拡大する方針としている。